

# 大学院における高度科学技術人材の養成について (検討のフレーム・論点整理) **概要**

## 1. 目的・目標

「国際的に活躍できる高度産業人材の育成」(一芸に秀で多芸に通じた国際水準の人材養成)  
 ・人は成長の原点であり、貴重な資源 ・産業の国際競争力の維持・向上に資する人材の輩出

## 2. その達成のために(論点整理)

### 論点1. 「教育の場」としての具体的な目標

- ・大学院教育の目的・目標: 研究者養成と産業研究・技術者養成の違い
- ・学生自身の大学院進学のための目的・期待: 学生の進学意欲を高める方策とは

### 論点2. 教育プロセス毎の課題抽出と課題解決の方向性

	教員の立場から	学生の立場から	企業の立場から
進学意思	・適正指導	・進学目的の明確化 ・学費・奨学金の確保	・期待能力の明示
入口の質	・能力の見極め	・入試のあり方	・基礎学力の担保
カリキュラム	・カリキュラムの体系化	・自発・自立修学	・カリキュラム設計への積極的参画
教育の手法	・プロセスの可視化 ・進捗評価	・複数教員指導 ・TA ・進路判断・変更	・インターンシップ制度充実 ・講師の派遣
出口の質	・成績評価システム ・質保証	・院生自身による低評価 ・本人の進路意思 ・初中レベルの理数教育の充実化	・修得能力の評価 ・青田刈りの是正・採用方式の多様化

### 論点3. 具体的な解決方策

	国レベル	大学院レベル	企業レベル
制度	・定員設定 ・定員充足と補助金の関係 ・RA・TAの制度化 ・教育会計の明示化	・本部と学部との関係 ・組織改革 ・競争的環境の積極的導入 ・予算配分の弾力化 ・特色ある取組 ・専門職大学院の活用	・教育寄附講座の推進 ・就職・採用活動に対する倫理憲章の徹底
運用	・教育投資の拡充	・産業や社会のニーズを踏まえたカリキュラムの構築 ・教育評価の明示 ・教育目標の明示	・採用時の能力評価 ・博士処遇・経済的支援
共通	・広報・普及活動 ・戦略的拠点形成と水平展開		